

(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ整備・運営事業にかかる実施方針及び
要求水準書(案)の公表について

「(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ」の整備・運営にあたっては、民間事業者の優れた技術、知識、資金等の活力を効果的に活用するため、PFI法に基づく、BTO方式(施設整備後、市に所有権を移転したうえで、事業期間中の運営・維持管理を実施)の導入を目指しています。

２０２３年度に実施した、民間事業者へのサウンディング市場調査や施設利用が想定されるパラスポーツ団体等へのヒアリング結果等を踏まえ、実施方針及び要求水準書（案）の公表を行いましたので、報告します。

1 実施方針及び要求水準書（案）の公表

2024年度中の事業者の公募・選定に向けて、2024年2月8日に実施方針及び要求水準書（案）を公表しました。

作成にあたっては、2023年度中の検討内容等を反映しています。

主な導入機能等（別紙参照）

- メインアリーナ
 - ・アリーナサイズは約1,600㎡とし、ブラインドサッカーやパラバドミントン、ボッチャなどのパラスポーツをはじめ、フットサルやバスケットボール、卓球などの一般利用も可能
- トレーニング室
 - ・誰もが利用しやすい諸室とするため、車いす利用者も利用可能なトレーニング機器等を導入
- 駐車場
 - ・障がい者用の駐車区画を複数設置するとともに、障がい者スポーツ団体からの意見を踏まえ、屋根付きの車室（一部）を整備
- その他
 - ・ユニバーサルデザイン化、災害発生時の備え、計画的な緑化等、周辺の住環境等に配慮が必要な事項を反映

2 今後の事業スケジュール

公表後に民間事業者から寄せられた、意見や質問に対する回答を3月中旬に行います。その後、募集要項等を作成し、2024年7月下旬から事業者の公募・選定を進め、2024年度中に事業者を決定する予定です。

2024年 3月中旬	実施方針及び要求水準書（案）に対する質疑回答
2024年 7月下旬	募集要項等の公表（要求水準書等の公表）
2024年10月下旬	競争的対話の実施
2025年 1月下旬	優先交渉権者の決定
2025年 3月下旬	本契約の締結

	2024年度				2025年度	2026年度	2027年度	2028年度以降
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ整備	公募に向けた資料作成	事業者の公募・選定	基本協定・契約締結に向けた準備・調整	設計・整備工事	運営・維持管理			●供用開始

＜本事業用地位置図＞



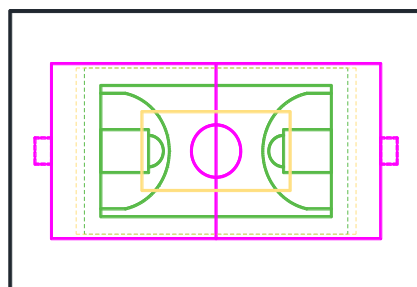
＜導入機能＞

導入機能・室名		想定規模	備考
体育館	メインアリーナ	約 1,600 ㎡	・ブラインドサッカー・フットサルコート 1 面、練習用フットサルコート 2 面を確保 ・天井高さは、1 面利用時のバレーボールの競技エリアは 12m 確保し、その他は 9m 以上を確保
	観覧場	約 80 ㎡	・メインアリーナに併設し、車いす利用者も利用しやすいよう、一部広めにスペースを確保 (固定型：約 100 席、可動型：約 200 席)
	器具庫	約 100 ㎡	・メインアリーナおよびサブアリーナで必要な器具等を収納
	トレーニングルーム	約 200 ㎡	・障がいの有無に関わらず利用可能な各種トレーニングマシンを設置
	サブアリーナ	約 230 ㎡	・バドミントン 1 面、ポッチャ、卓球で利用、スタジオとしても利用可
	多目的室 1、2	各約 35 ㎡	・サウンドテーブルテニス、音楽室、会議室、審判室等の多用途で使用
	管理運営、共用部	適宜	・受付・事務室、防災備蓄倉庫、救護室、カームダウン・クールダウンエリア、更衣室等 ・障がい者の利用に配慮した諸室の配置、車いす利用者も利用しやすい動線の確保
合 計		約 3,000 ㎡	
屋外	駐車場		・20～30 台程度（うち、障がい者用 5 割～6 割程度） ・屋外に設置する駐車場は、車いす利用者等のニーズを踏まえ、一部屋根付きとする
	広場		・イベント開催、インクルーシブ遊具の設置等を想定

＜メインアリーナサイズ＞

アリーナ面積 約 1,600 ㎡

アリーナサイズ：49m×33m



フットサル

ブラインドサッカー

コートサイズ：40m×20m

バスケットボール

コートサイズ：28m×15m

(競技エリア：32m×19m)

バレーボール

コートサイズ：18m×9m

(競技エリア：34m×19m)

＜コートサイズ（分割して利用した場合）＞

